

モノレール工事認定者講習に関するよくある質問について

質 問	回 答
1 認定者資格は何故必要なのですか？	多摩都市モノレールでの工事は、他の鉄道工事と同様に線路閉鎖やき電停止などの作業を伴います。こうした特殊性から、作業を実施するには、工事の安全確保に関する一定の知識を有している資格者が現場に常駐する必要があります。
2 どのような工事に認定者資格が必要なのですか？	<p>【資格を必要とする主な工事】 支柱補修工事・軌道桁及び駅舎塗装工事・駅舎防水工事・照明工事など</p> <p>工事認定者の資格は、線路に近い場所での工事（線路閉鎖作業）や列車運行に重大な影響を及ぼす可能性がある工事（転てつ器・可動式安全柵・列車無線等）を責任施工する場合に必要な資格です。</p> <p>※駅舎内コンコースなどモノレールの線路から離れた場所での工事は資格不要です。しかしながら、線路に近い場所での工事も多いため、できる限り工事認定者の資格を取得して頂きたいと考えています。詳細は、お問い合わせ頂きますようお願いいたします。 ☎ 042-526-7821 担当：遊佐・泉田</p>
3 資格の有効期間は？	有効期間は1年間です。更新する場合は、1年毎に講習会を受講していただく必要があります。
4 1社あたり何名まで応募してよいのでしょうか？	特に制限はありません。但し、座席数に限りがありますので、現場代理人、主任（監理）技術者及び、作業指揮者になる可能性のある方のみのお申し込みをお願いいたします。ご協力お願いいたします。
5 書類の提出期限を過ぎてしまうのですが大丈夫ですか？	受講申込書兼経歴書の内容、医療適正診断書（工作車操縦者の場合は免許証のコピー）、証明写真の写り具合を確認して基準を満たしていればモノレール講習会システムのIDを発行します。提出期限が遅れますとIDの発行も遅れ、システム上での講習会申込開始日に間に合わないおよび受講期間が短くなることもありますので余裕をもってご準備ください。
6 講習会を受講すれば必ず資格を取得できるのでしょうか？	講習会を受講していただき、その後の「運転考査」（筆記試験）に合格し、「精神作業素質検査（クレペリン検査）」「医療適性診断書」の基準を満たすことで取得可能です。
7 講習会の開催は年に1度でしょうか？	原則として、1年に1回の開催としています。
8 2023, 2024年度にクレペリン検査を受けたのですが、有効でしょうか？	2025年度講習よりクレペリン検査の運用変更を実施したことで、2023年度、2024年度にクレペリン検査を実施した方も2025年度は受検する必要があります。
9 クレペリン検査を多摩モノ以外で合格している為、クレペリン検査が免除になりますか？	当社の合格基準に照らして合否判断を実施しているため、当社以外のクレペリン検査の結果を利用することは出来ません。
10 作業責任者に認定者資格が必要ですが、作業責任者とはどのようなものなのでしょうか？	作業責任者とは、「当該作業における列車運行に関する責任を負い、列車運行支障を防止するために作業を管理する者」です。
11 オンライン受講とはどのようなものなのでしょうか？	システム上で、講習動画を視聴頂いたのち運転考査を受験して頂くものです。不正受講・受験を防ぐため顔認証機能を用いて実施します。
12 検査やテストを不合格となった場合の再試験は何回でも受けることができますか？	クレペリン検査は再試験1回のみ、運転考査の再試験はシステム上で定めた回数までとさせていただきます。
13 受講費は銀行振り込みとなっておりますが、領収書は発行頂けますでしょうか？	会社単位での領収書の発行は行いません。受講者のシステム上のマイページで領収書をダウンロードしてください。
14 近くに駐車場はありますか？	当日は多数の方の参加が予想されるため、当社駐車場の利用はご遠慮いただいております。公共交通機関でお越しになるか、お車の場合は多摩都市モノレール高松駅前にコインパーキングがありますのでお早めにご利用いただくことをお勧めします。
15 当日は雨天決行でしょうか？	原則として雨天でも講習会は開催いたします。
16 作業服に着替えるための更衣室はありますか？	更衣室等はありませんので、作業服または動きやすい服装でご来場されることをお勧めします。